

木曾川流域圏で上流は下流を思い、下流は上流に感謝する交流・連携を

第1回

# 水源の里を守ろう 木曾川流域集会

2008  
9/13(土)

pm1:00~pm5:00  
中小企業振興会館  
吹上ホール  
展望ホール9F

参加費  
1000円  
(資料代含む)

私たちは木曾川水系の水を毎日飲み、生活に使って暮らしています。上流の人びとの暮らしはどうなっているのでしょうか。工業優先、高度成長のヒズミ、そして過疎・高齢化によって上流の農山村には厳しい状況もたらされています。2006年の国土交通省の調査では、「限界集落」は7,800カ所あり、ここ数年で、その3分の1は消滅するだろうといわれています。

この状況に上流の自治体や人びとが、「上流と下流は手携え「水源の里」再生を」と「声」をあげました。木曾川水系のおいしい水を次世代へ持続的に守っていくためには、「水源の里」として、上流の人びとの暮らし続ける基盤である農業や林業を守り、育て、支えあわなければなりません。「…下流は上流に感謝する」という具体的な内容が問われ、求められています。それは40%を切った食料自給率や安全な食物という問題とも重なっていきます。

水源基金や分収造林、豊産物など、上流と下流のさまざまな交流や連携がつくられてきました。現在の取り組みを共有化し、今後についても話し合っていきたいとの趣旨で、「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を合言葉に、木曾川水系の生命の水を結び目にした市民、住民、自治体の集いにしたいと考えています。

京都府綾部市長  
四方八洲男氏 記念講演  
(全国水源の里連絡協議会会長)

「なぜ今、  
水源の里なのか」

木曾川水系の  
上流・下流首長らによる  
パネルディスカッションなど

主催：水源の里を守ろう 木曾川流域集会実行委員会  
後援：自治体学会

●共同代表：斎藤まこと（名古屋市議）  
伊沢真一（名古屋生活クラブ）  
山根みちよ（日進市議）

●連絡先：高橋まこと事務所 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-7-11  
TEL.052-745-1001 FAX.052-741-2588

# 集 会 次 第

13:00～13:10 ●主催者あいさつ

13:10～14:00 ●京都府綾部市・四方市長 記念講演「なぜ今、水源の里なのか」  
綾部市長 四方八洲男氏（全国水源の里連絡協議会会長）

## パネルディスカッション

14:00～14:50 ●木曾川水系上流首長のお話

「上流として水源の里の考えや下流への思い、農業や林業などの状況」

パネラー／岐阜県白川町長 今井良博氏（全国水源の里連絡協議会副会長）

岐阜県御嵩町長 渡邊公夫氏

長野県木曾町長 田中勝己氏

長野県上松町長 田上正男氏

長野県木祖村長 栗屋徳也氏

14:50～15:05 ●休憩

15:05～15:25 ●木曾川水系下流自治体のお話

「下流としての感謝と交流・連携の現状、今後」

パネラー／愛知県名古屋市副市長 山田雅雄氏

愛知県半田市副市長 榊原純夫氏

15:25～16:10 ●各テーマからのお話

「木曾川の水がおいしいのは……」

大沼淳一氏（特定非営利活動法人

みたけ・500万人の木曾川水トラスト）

「上流と下流自治体・人びとの交流・連携の現状」

鷲見利幸氏（株式会社スミ設備）

「中山間地の農業と都市のつながり方」

栗原 眞氏（農林水産省東海農政局・生産経営流通部長）

16:10～17:00 ●まとめ

17:00～17:05 ●閉会のあいさつ

17:05～18:45 ●懇親会

（会費 3000円・立食式）

●呼びかけ人 大沼淳一（特定非営利活動法人 みたけ・500万人の木曾川水トラスト）、河崎典夫（可見市めだかの楽校）、河田昌東（名古屋市、大学教員）、斎藤まこと（名古屋市議）、杉浦剛（美浜町議）、鈴木正浩（名古屋生活クラブ）、田原理香（可見市めだかの楽校）、早川蒼樹（名古屋市民）、堀田博之（名古屋市民）、松村水津彦（春日井市民、松河戸問題地域連絡協議会）、山口洋子（美郷町議）、山根みちよ（日進町議）（50音順）

